

世田谷区在住演劇団体ネットワーク
(Association of Regional Theater in Setagaya : A.R.T.S)
再始動について

世田谷区に新しい公共劇場として世田谷パブリックシアターが開館（1997年）するにあたり、世田谷区内を拠点に活動する劇団やプロデュース集団が、劇場と創造集団のコミュニケーションを深め、地域文化の発展に役立てるための情報や意見を交換する場としてネットワークを作り活動を開始しました。

世田谷パブリックシアター開館後は、劇場との共同企画として、ドラマ・リーディングやアートタウンへの参加、フリーステージ演劇部門実行委員会を務める、ワークショップを実施するなど様々な活動を行ってきました。

しかし、スタートから6年という年月を経て、当初中心に活動していたメンバーも、劇団の解散や事務所の移転、日常生活の繁忙などから、近年、世田谷区在住演劇団体ネットワーク(A.R.T.S)の活動が停滞していたことは否めません。

一方、世田谷パブリックシアターは、海外のカンパニーなどとの国際共同制作や、国内のカンパニーとの提携公演など、さまざまな規模での事業が行われ、パブリックシアター・シアターラムで上演されている作品に対してのある一定の評価、もしくは認識が生まれてきています。さらに、当初から、演劇に触れたことのない人を対象とするワークショップから、プロを対象とするワークショップ、学校の先生などを対象とするワークショップなどの実施。レクチャーやドラマ・リーディングなど、演劇的な知識を深めたいと考えている人たちへのアプローチなど、教育普及活動といわれる事業も数多く実施し、その活動は各所から注目されてきました。

また、最近では世田谷区内の小中学校へ訪問し演劇ワークショップや古典芸能ワークショップを行うなど、地域の学校教育との繋がりを深めていくような事業を展開しています。

このような状況の中で、現在あまり劇場との交流がない、世田谷区内で活動する劇団やプロデュース集団などの地域の演劇人と劇場が共同で何ができるのかということを考え、実行していくことが必要であり、そのためには再び世田谷区在住演劇団体ネットワーク(A.R.T.S)という枠組みを捉えなおし、劇場と地域の演劇人とのネットワークの強化を図りたいと考えています。

そこで、まずは、『世田谷における地域の演劇人と公共劇場の関係を考える』と題して、会合を開き相互に何ができるかを話し合う場を設けたいと思います。

興味のある方はぜひ、この会合にご参加ください。

参加資格は、下記のとおりとさせていただきます。

- 1 .演劇を中心とした舞台芸術活動をしている、団体(劇団、プロデュース集団、ユニットなど)、個人。実際に、会合に出席していただく方は集団の主宰者でも演出家でも作家でも制作担当者でも役者でも技術スタッフでも構いません。
- 2 . 入場料をお客様からいただいて公演活動をしていて、お金をいただく限り自分たちはプロフェッショナルであると思っていること。
- 3 . 世田谷区在住であること。団体の場合は、事務所、所有する稽古場が世田谷区内にある。主宰者、主な演出家、主な作家、制作担当者が世田谷区在住である。
- 4 . このような会合で新たなるネットワークを作り今後の活動に何かのプラスになるかも知れない考え、そのためにはちょっと労力かけることを惜しまない人。

皆様のご参加をお待ちしております。

世田谷区在住演劇団体ネットワーク (A.R.T.S)
世田谷パブリックシアター

お問合せ：世田谷パブリックシアター制作部 矢作勝義 (やはぎまさよし) 03 - 5432 - 1526